講義名	中国語Ｂ					授業形態	
担当教員	小笠原　恵子	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 １時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	CHI122

主題と概要

この授業は、教科書に「中国語入門ルール66」を使用する。番号順に配置されたルールを一つ学ぶ度に、前進を実感して頂けると思う。苦手な項目にチェックを入れると、見直しも簡単かと思う。入門参考書として手元にあるとありがたい本でもある。

各課のQRコードを読み込むと、その課の内容のリスニングが出来る。正しい発音を沢山聴いて発音に強くなってほしい。

準備学修で、リスニングを含む予習・復習をして頂きたいので、随時、宿題を指定したり、小テストを行ったりする。

授業中は、ペア、もしくはグループワークで繰り返し発音と文法の練習をする。発音、文法と漢字の書き方が正しいか確認し、暗記する事を求める。

到達目標

中国語の発音記号（ピンイン）を正しく流暢に読めるようになる。
単語の発音と正しい字の書き方と基礎文型を暗記し、中国語の基礎がしっかり身に付くようになる。
自己紹介文が書け、口頭で自己紹介ができるようになる。
基礎会話ができるようになる。
基礎中国語のレベルで、中国語から日本語、日本語から中国語への翻訳と通訳ができるようになる。

提出課題

提出課題：テキストの各ページの書き写しと、練習の問題など、筆記宿題として指定する。
課題の提出は、提出日の授業の最初に提出する。出席者だけ提出出来るものとする。出席しない時が提出を認めない。提出締め切り後の提出も認めない。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

宿題と小テスト、中間テストで学生の課外学修を促しながら習得状況を把握し、間違いを指摘し、フィードバックする。

評価の基準

授業積極度と宿題で４０%、中間試験30%、期末試験３０%。

中間試験は、第６課終了後に、期末試験は第12課終了後に行う予定であるが、進度によって範囲の変更をする場合がある。授業中の発表が良くできる場合は加点する事がある。

欠席が５回で失格となる。遅刻３回は１回の欠席と換算される。また、授業中に寝たり、お喋りしたり、携帯をいじったりして、授業態度が悪いと、最終成績の評価が低くなる。

履修にあたっての注意・助言他

この授業は、学生一人一人の発音を聞いたり、質問に答えてもらったりするなどの為、座席指定です。
教科書は必ず購入する事。教科書がないと、宿題提出と小テストの勉強に差し支えるし、授業内容が身に付かないため、途中でドロップアウトしてしまうのが通例です。

準備学修では提出課題のみでなく、リスニングと音読みも頻繁にやってほしい。

授業中では、リスニング教材を聞く時はスマホの使用を指示する。それ以外は、スマホの使用を禁じる。
遅刻は３回で１回の欠席とみなすので注意すること。

教科書

・中国語　入門ルール66.	相原　茂　玄　宜青	朝日出版社	2400	9784255453309

参考図書

その他

授業計画

１　オリエンテーション・発音編１～２課一　声調、単母音・副母音・子音
復習内容：提出課題として第１～２課の練習問題を書く。中国語の発音記号（ピンイン）の書き方とルールを覚える。第１～２課音声資料を聞く。(120分)
予習内容：第３～４課の音声資料を聞き、発音、発音記号の書き方とルールを覚える。(120分)

２　発音編 3～４課一　鼻音・発音のつづり、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題①として第３～4課の練習問題を書く。第１課～第4課音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題②として本編第1課P３６～P３８の中国語と発音記号を1度書き写し、日本語訳を書く。第１課音声資料を聞く。(120分)

３　本編　第１課一人称代詞、「は～です」の言い方　課題集め、復習
復習内容：次回提出課題①として第１課の練習問題を書く。第１課音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題②として本編第２課P４２～P４５の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。本編第２課の音声資料を聞く。(120分)

４　第２課一指示代詞、呜疑問文、反復疑問文、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題①として第２課の練習問題を書く。第２課音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題②として本編第３課P４８～P５１の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し日本語訳を書く。第３課音声資料を聞く。(120分)

５　第３課一形容詞述語文、否定文と疑問文、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題①として第３課の練習問題を書く。第３課の音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題②として本編第４課P５４～P５７の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。第４課音声資料を聞く。(120分)

６　第４課一“的”日本語の「の」について、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題①として第４課の練習問題を書く。第４課音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題②として：第５課P６０～P６３の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。第５課音声資料を聞く。(120分)

７　第５課一 前置詞“在”-「～で」、是・・・的、いくつかの疑問詞、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題①として第５課の練習問題を書く。第５課音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題②として第６課P６６～P６８の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を付けて宿題として提出する事。第６課の音声資料CD６８～CD７２を聞く事。(120分)

８　第６課 一数の数え方、年月日、曜日の言い方、“几”-いくつ？“呢”-「～は」、　課題集め、復習
復習内容：次回提出課題①として第６課の練習問題を書く。第１課～第6課の復習をし、中間試験に備える。(120分)
予習内容：次回提出課題②として第７課P７２～P７４の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。第７課の音声資料を聞く。(120分)

９　中間試験、試験後第７課 一物を数える、“有”-「持つ」、“二”と“两”、課題集め、
復習内容：次回提出課題①として第７課の練習問題を書く。第７課の音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題②として第８課P７８～P８０の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。第８課の音声資料を聞く。(120分)

10　第８課 一“有”，“在”-「ある/いる」、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題①として第８課の練習問題を書く。第８課の音声資料を聞き復習する。(120分)
予習内容：次回提出課題②として第９課P８４～P８７の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。第８課音声資料を聞く。(120分)

１１　第９課 一二つの“怎么”-「どうして」、課題集め、復習
復習内容：次回提出課題①として第９課練習問題を書く。第９課の音声資料を聞く。(120分)
予習内容：次回提出課題②として：本編第１０課P９０～P９３の中国語（漢字と発音記号）を1度書き写し、日本語訳を書く。第１０課音声資料を聞く。(120分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、商学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」・経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」・人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考